

## 吹田市総合計画審議会（第1回）の主な意見等について

NO	審議会委員意見	回答及び考え方
1	<p>活発な審議を進めるため、部門ごとに部会を設け審議を考えているが、どうか。 また、部会構成について、副会長と相談し、提案するということがよいか。</p>	<p>了承される</p>
2	<p>千里ニュータウンの活性化が入っていないようだがいかがか。</p>	<p>都市空間の将来像で言及している。 多世代交流などコミュニティが活性化する環境づくりをめざすと掲げている。</p>
3	<p>人が重要という話がかかれており、大切だと思う。 仕組みだけではなく、人材づくりも重要なので、人材の話を書き込んでどうか。</p> <p>今後の話し合いの中で、そういう議論が出てくれば入れたい。</p> <p>職員の能力アップのほかにも、市民のクリエイティブさを活かすようなことができればいいと思う。人材の能力アップを強調したい。</p>	<p><u>人材育成基本方針</u>（平成24年8月策定） 資料2-1</p>
4	<p>健全な行財政運営については、他の色々な計画にも関連していると思う。</p> <p>人材開発についても記載されているだろう。 次回以降は関連する市の計画について情報提供いただきたい。</p>	<p>(1) <u>第2期財政健全化計画(案)前期計画(5年)</u> 計画期間 資料2-2 平成22年度(2010年度)～ 平成26年度(2014年度)までの計画 計画の目標 ア) 収支の均衡を図る イ) 経常収支比率95%をめざす ウ) 公債費負担比率を概ね10%以下となるよう市債の発行を管理</p> <p>課題: 収支均衡のため、財政調整基金を取り崩し収支均衡を図っていた。 イ) の経常収支比率の95%は達成の見込みがたたない</p> <p>「財政非常事態宣言」 抜本的な行政改革 「収入に合わせて支出を組むという財政規律」</p> <p>(2) 「<u>行政の維新プロジェクト</u>」改革の工程 平成23年8月31日策定 資料2-3 平成24年10月 平成24年度版改定</p> <p>基本的な考え方 ア) 赤字地方債(臨時財政対策債)を発行しない 【平成23年度決算で達成】 イ) 財政調整基金を決算において取り崩さない 【平成25年度決算で達成】 ウ) 経常収支比率95%を達成 【平成26年度決算で達成】</p> <p style="writing-mode: vertical-rl; position: absolute; right: 0; top: 50%; transform: translateY(-50%); border: 1px solid black; padding: 2px;">取組み方策の追加・具体策の追加</p>

吹田市総合計画審議会（第1回）の主な意見等について

NO	審議会委員意見	回答及び考え方
5	<p>将来像の実現に向けた道筋、ルートについて。ルートはそれぞれが関連している上に、ルート1はルート2以降の土台になるものだと思う。その関連性の整理が必要。</p>	<p>一つの枠組みとして今回整理した図。ルートは確かにそれぞれ密接に関連している。分野別の計画があるが、それが密接に関連する計画が総合計画。 <u>基本計画の中で、部門と部門の関連性について分かるような記載の工夫を検討</u></p>
6	<p>第2章人口と都市空間で、平成32年度の将来人口を35万5千人とした根拠は何か。</p>	<p>人口の推計を行ったデータに基づいている。一般的に用いられるコーホート要因法を用いた。千里ニュータウンなどでは人口が流入する要因を考慮など確定している開発要因を考慮して推計した。ただし何も対策しなければ人口は減少すると言われてるので、住み続けたいくなる定住施策を打ち出して35万5千人をめざそうとしている。</p>
7	<p>今話題になっているガンバ大阪のスタジオムの話が入っていない。</p>	<p>吹田の特徴ともいえる場所については、27ページの(4)地域の特色を生かした魅力ある都市空間の形成に記述している。 万博記念公園周辺は、市内外の人と交流しにぎわいや憩いを醸し出す空間をめざすとしている。 具体的にガンバ大阪の名前は挙げていないが、内容的にはここに含んでいる。</p>
8	<p>24ページ、まちの将来像で、「住」「働」「楽」を掲げているのは市民目線だと思う。しかし都市魅力は市民からの立場だけでなく、市外から訪れてもらうという要素を意識する必要がある。交流の要素を入れてはどうか。</p>	<p>市外から訪れたいくなるような都市魅力向上の要素を基本構想に盛り込むことについて、「都市魅力を内外に発信し、人をひきつける元気のあるまち」として表現しているが、人をよびこみ交流するという要素をより強調するかにについては検討が必要</p>
9	<p>全体的に苦慮して作成されていると思う。 24、25ページはバランスよくまとめられている。ただ、「人・まち・元気創造都市すいた」は、「すいた」のところを他都市に替えても問題なさそうな内容になってしまっている。 一言で言うと吹田市はどうかを言い表すべきところ。 万博のような、日本を代表するスポットがあるのでそれを打ち出していくのか、個別計画を総合する計画として作成するのか、姿勢を教えていただきたい。</p>	<p>吹田の魅力については議論を行い、市民ワークショップでも市民の意見を出してもらった。その中に何でもそろっているまちという意見があった。 何でもそろっているという、特徴のないことが特徴という面もある一方で、万博記念公園についても挙げられていた。 現在はニュートラルな計画になっているので、皆さんの意見をお聞きしてギアを入れていきたい。 吹田市には土地勘があり、また、20数年市民活動に関わらせてもらっている。駅が多い、拠点がありすぎて分かりにくいともいえるまち。しかし吹田は地域性があるし、色々な都市核が集積しつつバランスを取っているの、ある地域に特化するのが難しいのではないかと。どういう絞り込み方がいいのかは今後の議論が必要。</p>
10	<p>8ページの計画期間の図では、総合計画の矢印が一番上に出てきているので、基本構想、基本計画、実施計画とは別に総合計画があるように見えてしまう危険性がある。 現行計画の図と整合性が取れるように整理した方がいい。</p>	<p>社会経済状況が変わってきており、平成23年地方自治法改正により基本構想策定義務が撤廃となった。計画の役割を再度検討し、7ページでは協働と適切な役割分担のもとでまちづくりを進めていくうえにおいて共有すべき指針であるとした。 <u>基本構想を含む全体を通しての抜本の見直し</u> <u>分かるように図示</u> 資料2-6</p>